

地震発生！そのときどうする？

大きな地震が起きたときだけでも驚き、平常心を失ってしまいます。あわてて外に飛び出したりするとかえって被害が大きくなることになりかねません。わが身の安全を守るため、冷静な対応を判断して行動することが心です。



- オフィスや作業場では防災責任者を決め、防災計画を作成し、それにそって行動とります。
- 公共交通機関乗車時には乗務員、ディレクターや乗場、ホームなど入居者あふるところでは、係員の指示に従って行動とります。

情報の在りか

気象 (気象観測・気象予報等) に関する情報は、気象庁 (東京都) のウェブサイトから確認してください。
<http://www.tkyo-jma.go.jp/tome/choshi/>
 気象庁 <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>
 船橋防災気象情報 <http://dmcweb03.wmi.co.jp/funabashi/point2/index.html>
 河川 (雨量情報・水位情報等) に関する情報は、国土交通省関東地方整備局 (国土交通省) のウェブサイトから確認してください。
<http://www.river.go.jp/>
 国土交通省「1」の防災情報

避難等に関する情報は、国土交通省関東地方整備局 (国土交通省) のウェブサイトから確認してください。
<http://www.funabashi.go.jp/>

防災に関する情報は、国土交通省防災情報提供センター (国土交通省) のウェブサイトから確認してください。
<http://www.bosai.go.jp/>

報道機関
NHK、JCN船橋放送局 (CA・V9外部)、千葉テレビ (JHF4外部) 等

災害時の声の伝言板 **171** 災害用伝言ダイヤル

災害発生時には、多くの方が同時に電話をかけるため、被災地の電話がかりにくくなります。災害用伝言ダイヤルはこのような電話がかりにくい状態でも家庭間の安全確認や集合場所の連絡などに利用できます。

● 伝言登録時間：1 伝言あたり30秒以内
 ● 伝言保存期間：録音してから48時間
 ● 伝言登録料：電話番号あたり1〜10 伝言 (提供料にお知らせいたします。)
 ※ 提供料の削減、登録できる電話番号など運用方法・提供料等については、お電話にてNTTが詳しく、テレビ、ラジオ、NTT東日本ホームページ等を通じてお知らせいたします。

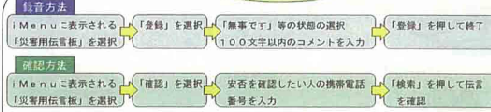
録音方法

ガイダンスにしたがって伝言の録音をしてください。
171-1-047-000-0000-録音
 自身の電話番号を**番号欄**にダイヤルしてください。

再生方法

ガイダンスにしたがって伝言の再生をしてください。
171-2-347-000-0000-再生
 自宅などの電話番号を**番号欄**にダイヤルしてください。

災害時の文字の伝言板 **i モード他** 災害用伝言板



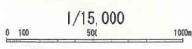
※PHS やパソコン等からは <http://denpan.docomo.jp/ja/top.cgi> から確認できます。
 au、softbank、WILLCOM等でも同様のサービスがあります。各社にご確認ください。

災害時のインターネット伝言板 **Web71** 災害用ブロードバンド伝言板

<http://www.web71.jp/> にパソコン等からアクセスし、画面表示にしたがって登録、閲覧・追加登録等が出来ます。100文字の伝言の他、静止画・音声を (いずれか1つ) のファイルの登録も出来ます。
 詳細は <http://www.ntt-east.co.jp/saige/web71/index.html> で確認してください。

避難時の心がけ

正確な情報収集と伝言登録 テレビ、ラジオ等で最新の気象情報、災害情報、避難情報などを速やかに受けとれ、身の安全を確保し、伝言登録を怠らぬようにしましょう。	動物や飼い猫、2人以上での避難 避難するときは、動きやすい服装で、2人以上での避難を心がけましょう。	車での避難は控えて 車での避難は、緊急車両の通行の妨げになります。また、交通渋滞をまねきます。また、避難する場合は、事前に十分な準備を怠らぬようにしましょう。
避難の呼びかけに注意を 危険が迫ったときには、市町村や指定避難所からの避難の呼びかけを必ず聞きましょう。呼びかけがなかったら速やかに避難してください。	お年寄りなどの避難に協力 お年寄りや障害者など、避難が難しい方の避難を支援しましょう。	消防用車を止らない 消防用車が通行する場合は、道路脇で待機して、消防用車の通行を妨げないようにしましょう。
避難する前に 避難する前に、水、食料、ガスなどの必要物資を確認し、避難場所を事前に確認しておきましょう。	高い避難を避ける 避難時には、できるだけ低い避難所を選び、水が溜まる場所は避けて避難してください。また、避難所のお年寄りなどの避難に協力しましょう。	想定される浸水が強い場合など 想定される浸水が強い場合には、近くの安全な建物へ避難して避難することも有効です。



普段の心がけ

大雨の台風に備えて 家のまわりを点検し、危険な箇所は早めに修理しましょう。	避難所や避難場所を確認しておく この地図には、洪水が起きたときに避難できる避難所や避難場所が示されています。多分石の多い急な斜面などは避難所として適当ではない可能性があります。また、家のまわりの排水溝が詰まったりしていないか確認しておきましょう。
非常食や水などを用意しておく 避難所では、非常食には、調理の手間がかかるので、水も必要で便利なもの (レトルト食品や缶詰など) を用意しておきましょう。また、懐中電灯やラジオ、乾電池なども用意しておきましょう。	

緊急連絡先

船橋市役所 436-2111 (代)	ライフライン ● 東京電力 (株) ● 東京ガス (株) ● 東京ガス (株) ガス漏れ専用電話 047-325-1049
緊急・救助 119番	NTT東日本 (株) 東京営業支店 047-433-4004
警察 110番	千葉県水産局危機管理対策室 0438-211-8636

救急医療機関
船橋市消防局
047-436-2727

船橋市防災マップ (洪水ハザードマップ) (案)

これは平成19年2月27日に開催された第6回江戸川左岸圏域流域懇談会用の資料です。

